

## 令和3年度事業報告

### I 総括

「令和3年度はコロナ禍が継続すると思われ、引き続きコロナ感染防止策に万全を期して奉仕会業務を運営する」との方針のもと、奉仕会業務を運営しているところ、必ずしも完全な形で事業を運営できない面も見られたが、概ね計画した事業を実施できた。特に、数度にわたる緊急事態宣言等の実施に際して、昨年度と異なり閉苑されることもなく、一昨年来培った感染防止に関するノウハウを活かしつつ、概ね計画通りに業務を遂行できたものと判断している。

第1に「戦没者崇敬に関する思想の普及」について、奉仕会主催の秋季慰霊祭の実施にあたり、感染防止に配慮し昨年以上に規模を縮小せざるを得ない点があったものの、厳粛に実施できた。また、一部の行事は中止されたものの、諸団体の行う慰霊行事及び一般参拝者などへの着実な支援を行うとともに、墓苑の普及広報のため広報紙「千鳥ヶ淵」の発行、ホームページ等による的確な情報の提供を行った。

第2に「国が行う墓苑の維持管理等の業務に積極的に協力」について、その都度着実に実施した。

第3に「奉仕会業務の綿密、着実な運営」に関し、コロナ禍により止むを得ず一部事業について中止または実施要領を変更せざるを得ないものもみられたが、概ね順調に実施できた。

### II 戦没者崇敬に関する思想の普及

#### 1 秋季慰霊祭の実施

10月18日(月)、コロナ禍が継続する中、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、奉仕会主催による秋季慰霊祭を、消毒・検温専門チームを編成するなどコロナ感染防止策に万全を期し、321名の参加を得て厳粛に実施した。この際、感染防止のための更なる強化策として、①支援者を含むスタッフ全員のワクチン接種、②参加者全員の不織布マスクの着用、③参加者数の更なる削減(400名から300名へ)を徹底した。

また、継承世代(※)の参加促進については、招待者数を制限したため限定的(JYMA 日本青年遺骨収集団4名のみ参加)となった。

※継承世代：戦争体験並びに戦没者慰霊を引き継いでいく世代

## 2 国・諸団体による慰霊行事及び一般参拝者への支援

### (1) 厚生労働省主催等の「拝礼式」「遺骨引渡式」の支援

例年5月下旬に予定されていた拝礼式については、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。また2年ぶりに開催された遺骨引渡式については、硫黄島からのご遺骨の帰還にあわせて2回支援した。

### (2) 諸団体による慰霊行事及び一般参拝者への支援

諸団体が行う慰霊行事及び一般参拝者への支援について、感染防止に最大限留意しつつ、厳粛かつ整齊円滑に行えるよう、慰霊行事等の日程調整、環境省への行事開催申請の支援、供花・献花の注文の取り次ぎ、物品の貸出、場内放送用具の貸出、動画配信接続支援等参拝者ファーストの精神で支援している。なお、休憩所の利用にあたっては、施設管理に責任を有する環境省の千鳥ヶ淵戦没者墓苑管理事務所と綿密に調整しつつ、引き続き以下の処置を行っている。なお、緊急事態宣言発出中においても開苑されており、一部の制限強化を行いつつ利用できるよう配慮した。

#### ○ 休憩所の利用要領

- ・マスクの着用、入室時のアルコール消毒、大声での会話の厳禁、短時間（20分以内）の利用等を依頼
- ・常時換気を行うため、窓を開放（厳冬時含む）
- ・椅子・机については、参拝者の使用の都度除菌を実施
- ・各席における対人間隔2mを維持するため椅子を通常の1/3に削減しつつ、14名以下に入場制限（アクリル板の設置）。
- ・喫食の禁止（前屋、藤棚付近等のベンチの利用を推奨）
- ・収益事業のうち、書籍等の販売を取りやめ、飴・羊羹の販売のみを実施

※ 消毒液等の消耗品の大部分は管理事務所の支援による

#### ○ 参拝時（墓前）における三密防止策

参拝者相互の間隔維持のための表示板を掲示

また、諸団体の慰霊行事の実施にあたっては、昨年2月に文書送付により実施した慰霊行事調整会議の配布資料に、コロナ感染防止対策のため、「各慰霊団体の慰霊祭の斎行にあたっての留意事項（感染防止ガイドライン）」を含めて送付し、三密を避けて実施する要領について理解を得つつ、実施に際して間隔の保持、検温・手指消毒等の感染防止策を支援した。引き続き、国、都のガイドラインに基づき、管理事務所と調整し

つつ感染状況及び国の緊急事態宣言等の実施状況に応ずる参加者数上限枠 (令和4年2月には、参加者数上限枠として、350名【緊急事態措置実施期間】、700名【まん延防止等重点措置実施期間】、1,000名【前記以外の期間】を提示)を設定し、当面の間これを運用する。

(3) 墓苑献花台の献花奉仕を支援

帝国華道院研究部により毎週(冬期は隔週)実施される前屋献花台への生け花を支援している。

(4) 春・秋の奉仕茶会の行事に協力

千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕茶会による茶会については、コロナ感染防止の観点から春・秋とも中止となった。

(5) 政府高官の参拝支援

8月15日に武道館で実施される全国戦没者追悼式に先立ち墓苑を訪れる内閣総理大臣をはじめとする関係閣僚等の参拝支援を行った。

別表ー1 令和3年度年間主要慰霊行事等予定表(3月末現在)

別表ー2 令和3年度各種団体の参拝・慰霊行事参加状況(3月末現在)

別表ー3 令和3年度奉仕会会員等の人数と参拝者の推計(3月末現在)

### 3 墓苑の普及広報

戦没者崇敬思想の普及、奉仕会の人的、財政的基盤の充実に寄与するとともに参拝者の増加に繋げるため各種事業を行っている。なお、一部事業について実施を見合わせているものもある。

(1) 投稿記事の募集、保存・継承

令和2年度事業として募集した「語り継ぐ戦中・戦後」と題する投稿記事(29通)を広報紙「千鳥ヶ淵」の令和2年11月号から令和3年11月号にわたり逐次掲載した。これらを小冊子として編綴(500部)し、希望する会員を含めて広く頒布した。

また、これに引き続き「かけがえのない日本、かけがえのない世界」と題する投稿記事を募集したところ25通の応募があり、広報紙「千鳥ヶ淵」の令和4年新年号に2ページを増加して掲載した。この際、宗教団体等より若手から多数の寄稿があった。なお、掲載出来なかった寄稿文については、次号以降に逐次掲載している。

(2) 広報紙「千鳥ヶ淵」の発行、配布

4ページ・タブロイド・カラー版の広報紙「千鳥ヶ淵」を2ヶ月毎に7千部発刊し、奉仕会会員等、関係省庁、国会図書館、各都道府県庁・同遺族会、戦友会、篤志団体等に対して配布するとともに、参拝者にも

苑内で配布した。その内容は奉仕会主催の秋季慰霊祭、諸団体により行われる慰霊行事、一般参拝者の状況、その他戦没者に対する慰霊奉賛活動等墓苑内外の各種の情報を提供し、墓苑の普及広報とともに戦没者慰霊奉賛の機運を醸成した。

(3) ホームページ等による広報

墓苑の行事、奉仕会の活動状況、特に、関連行事の動画も掲載し理解の促進を図った。また、環境省の管理事務所と協力して墓苑内の植物・小動物等を紹介し、より親しみやすいものにして幅広く国民に対して広報の実を上げる事に努めている。更に外国人に対する墓苑及び奉仕会に対する理解を得るため、会員（タイ国籍の女性ボランティア）による支援を得つつ英語版のウェブサイトを開設・運営している。

(4) SNS の活用による広報

コロナ禍に鑑み、当会理事が YouTube に墓苑参拝動画「On-line 参拝」をアップロードし、来苑できない参拝者への便宜を図っている。また、YouTube、Instagram を運営する会員（北海道在住）と連携し、墓苑で催される行事、墓苑内施設、四季の彩り等について情報を発信している。

(5) 参拝者等に対する周知説明による広報

団体及び一般参拝者に対して積極的に案内、説明して墓苑の周知理解を図り広報紙等を配布・利用するなどにより理解の促進に努め、併せて会員への入会を勧誘することを計画・実施したが、団体参拝者の激減等により十分な効果は得られていない。

(6) 広報展示システムの活用

休憩所内の広報展示システムの本格的な墓苑紹介コンテンツの作成について、動画及びスライド等により墓苑及び奉仕会の紹介を行い、参拝者の墓苑及び戦没者慰霊に関する理解の促進を図ることを計画したが、参拝者が激減していることなどにより作成の必要性が薄れ、今後のコロナ禍の状況を勘案して対応する。

(7) 前屋におけるパネル展開催による広報

桜の開花時期、終戦の日及びその前後等人が集まる時期に前屋においてパネル展を開催した。また、秋季慰霊祭に併せて他の団体と合同で開催する共同パネル展の実施を検討したが、人が集まることによる密を避ける観点から実施を見合わせた。なお、協力団体、希望する団体へパネルを貸出し、墓苑、戦没者慰霊の理解の促進を図ることを計画したが、コロナ禍により団体による会合が実施されないこともあり貸出はなかった。

(8) 講演による広報

墓苑参拝の要請を行うとともに会員勧誘の機会とするため、各関係団体の総会・集会時において、奉仕会理事等による講演会を計画したが、依頼はなかった。

(9) マスコミ等の活用

秋季慰霊祭、パネル展示等についてマスコミ、千代田区観光協会 HP 等を通じ積極的に情報提供を行うことを計画したが、三密防止の観点から参拝者の入苑制限等を勘案し実施していない。

(10) 前屋おける墓苑広報写真及び休憩所でのパネルの常設展示

墓苑を訪れた一般の参拝者等に対して、墓苑の概要、戦没者慰霊の各種施策等を紹介し、参拝者の理解に資するため、秋季慰霊祭、厚労省主催行事並びに各種団体等の行う慰霊行事等の広報写真を前屋に展示し、また、休憩所内に墓苑広報パネルを展示している。

(11) その他の各種広報等

「インパール作戦戦没者慰霊の旅」(藤原淑子著)を奉仕会推薦図書とし、会員及び一般の方にも紹介し106部販売(令和3年度末現在)した。

Ⅲ 国が行う墓苑の維持管理等の業務に積極的に協力

1 六角堂周辺の清掃等

六角堂周辺、特に墓前の清掃を毎朝行うとともに、休憩所、会議室の清掃・除菌・整理整頓を日中適時・積極的に行い、清新な参拝等に協力している。

2 墓前に参拝者用の慰霊献花のための菊花を提供して便宜を図っている。

3 休憩所等に保管する図書及び資料の整理整頓並びに閲覧案内、図書閲覧者記録簿の管理を行っている。なお、本年度の成果については2件の閲覧希望があった。

Ⅳ 奉仕会業務の綿密、着実な運営

1 中長期事業計画の検討

本年度は終戦〇周年、創建〇周年といった記念事業の準備・実施時期にあらず、落ち着いて検討できる環境にあることから、中長期事業計画を検討していたところ、令和3年度末までに一案を得た。

## 2 戦史資料の収集整理及び調査研究

- (1) 大東亜戦争や遺骨収集、戦没者慰霊等に関する各種資料の収集整理を行い広報紙の関連記事として掲載するほか、成果を蓄積・保管している。
- (2) 遺族、参拝者等の要望に応じ、戦闘戦史・部隊史等に関する調査・研究を行い必要な情報を提供している。

## 3 各種会議の開催

### (1) 理事会・評議員会

第1回通常理事会を4月15日(木)、定時評議員会を5月13日(木)、第2回通常理事会を令和4年2月14日(月)に予定したが、コロナ禍でもあり、いずれも定款第26条(決議の省略)による文書送付によるものとした。

### (2) その他の会議

- ・ 参与会は厚生労働省主催の「拝礼式」が行われなかったこともあり、実施を見合わせた。
- ・ 令和4年2月下旬頃に慰霊行事实施団体参加のもと慰霊行事調整会議を実施して、各団体等の行事实施に関する諸調整を行う予定であったところ、オミクロン株による感染者数の急増により昨年と同様文書配布とした。

## 4 献花用の菊花及び飲料等の準備

参拝者用に墓前で菊花、休憩所で飲料水、参拝記念品等を販売している。本年度の参拝記念品の販売数は309コであった。

## 5 奉仕会の基盤充実

奉仕会会員の増勢及び助成金の獲得等により、会の運営基盤の充実を図っている。特に、参拝者の減少により献花料等の収益事業収入が激減し、本年度も年度収支が大幅な赤字になる恐れが予想される中、令和3年度補正予算による政府の新たな助成事業である「事業復活支援金」について申請を行ったところ、令和3年度については支給条件を満たせず受理されなかった。令和4年度以降再度申請する。

なお、参拝者への理解の促進及び会員の増勢に資する広報用パンフレットや奉仕会への入会案内を折り込んだ広報紙を休憩室等に設置するとともに、広報紙に入会依頼を適宜掲載している。

6 諸規定の見直し等

定款の変更等、理事会等に諮る見直しはないものの、時宜に応じた奉仕会規則類の見直しを継続的に実施している。

7 内閣府への報告等

法令に基づき事業計画等及び事業報告等を的確に行っている。なお、本年2月に失効する税額控除証明書の申請を行ったところ、令和4年2月7日から5年間を有効期間とする新たな税額控除証明書の発給を受けた。

8 その他

- (1) 鈴木新会長が令和3年5月にご就任され、7月に来苑されて施設・奉仕会業務についてご理解頂いた。
- (2) 昨年に引き続き、理事の勤務態勢を2名づつ（専従員の勤務日には1名勤務）とするテレワークを実施している。テレワークの要領については、主としてメール等により実施しているが、テレビ会議が必要な場合に備え、Zoom等のWeb会議システムを利用してテレビ会議を実施した。
- (3) 昨年1月から役員との連携強化のため、主として事務局の活動を記載した「墓苑だより」を月に1回基準で送付している。
- (4) 3月23日、高額のご奉納、英語版Website運営等これまでの功績により、タイ国籍の会員に対して感謝状を贈呈した。

(了)

# 令和3年度年間主要慰霊行事等予定表

別表-1

(期間: 令和3年4月～令和4年3月)

番号	月	日(曜日)	主催団体	慰霊行事名	実施状況
1		計画せず	千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕茶会	春の奉仕茶会	中止
2		9日(土)	法華宗(本門流)宗務院	千鳥ヶ淵戦没者慰霊法要	実施
3	4	11日(月)	真言宗護國派	大東亜戦争戦没者77回忌理趣三昧法要	実施
4		計画せず	比島ミンダナオ方面戦没者遺児の会	ミンダナオ方面戦没者慰霊祭	中止
5		13日(火)	龍雲寺	御詠歌慰霊法要の会	実施
6	5	計画せず	防衛省海上自衛隊	遠洋練習航海部隊参拝	中止
7		31日(月)	厚生労働省	拝礼式	中止
8		13日(火)	千代田区役所	令和3年度千代田区戦没者追悼式	中止
9		14日(水)	妙智會教団	千鳥ヶ淵戦没者墓苑うら盆供養	実施
10	7	15日(木)	阿含宗関東別院	太平洋戦争戦没者供養護摩法要 千鳥ヶ淵万燈会	実施
11		計画せず	金光教東京センター	金光教東京平和集会 戦争死者慰霊・平和祈願祭	中止
12		14日(土)	(公財)新日本宗教青年会連盟	第56回戦争犠牲者慰霊 並びに平和祈願式典	実施
13		15日(日)	8・15平和祈禱会実行委員会	8・15平和祈禱会	実施
14		15日(日)	日蓮宗宗務院	千鳥ヶ淵戦没者追善供養 並世界立正平和祈願法要	実施
15	8	15日(日)	フォーラム平和・人権・環境	戦争犠牲者追悼・平和を誓う8・15集会	実施
16		15日(日)	(公社)日本会	第63回世界総調和の日祭典	実施
17		16日(月)	※全国強制抑留者協会 埼玉県支部	全国強制抑留者協会埼玉県支部 慰霊祭	実施
18		21日(土)	※解脱会青年本部	千鳥ヶ淵慰霊式典(献鶴)	実施
19		23日(月)	シベリア抑留者支援センター	シベリア・モンゴル抑留犠牲者追悼の集い	実施
20	9	18日(土)	浄土真宗本願寺派	千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要	実施
21		23日(木)	立正佼成会	第63回千鳥ヶ淵戦争犠牲者慰霊法要	実施
22		17日(日)	シベリア・クラスノヤルスク遺族会	シベリア抑留中死没者のための鎮魂祭	実施
23	10	18日(月)	(公財)千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会	秋季慰霊祭	実施
24		31日(日)	東京地区メレヨン会	慰霊祭	中止
25		3日(水)	ソ連抑留戦友・遺族会 東京ヤゴダ会	第24回鎮魂慰霊祭	実施
26	11	計画せず	千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕茶会	秋の奉仕茶会	中止
27		16日(火)	関西宗教懇話会	第7回全国仏教者による戦没殉難者慰霊法要	実施
28	1	1日(土)	解脱会浅草支部	早朝初詣参拝	中止
29	2	16日(水)	※僧庵の会 施行院	賀陽文憲様(賀陽宮末裔)法要	実施
30		12日(土)	比島みたま会	第26回慰霊祭	実施
31	3	20日(日)	ピースリング・オブ・グアムジャパン	春彼岸の参拝	実施
32		27日(日)	解脱会東京第一教区	千鳥ヶ淵戦没者墓苑供養祭	実施
備考			実施:23 中止:9 (令和2年度 実施:17 中止:12)		

※印は本年初めて開催した団体

※1 11月に慰霊行事を予定していた東京葵ライオンズクラブは2022年4月に延期予定

※2 解脱会浅草支部は団体参拝から個人参拝となった。



## 令和3年度各種団体の参拝・慰霊行事参加状況

<p>( * 代理人 )</p>	<p>秋篠宮皇嗣同妃両殿下、内閣総理大臣、厚生労働大臣、環境大臣、防衛大臣、内閣官房長官、国家公安委員長、内閣官房副長官、立憲民主党代表*、公明党代表*、国民民主党代表*、厚生労働副大臣、外務大臣政務官、国会議員18名、防衛事務次官、厚生労働省社会・援護局長、厚生労働審議官、環境省自然環境局長、統合・陸上・海上・航空各幕僚長</p>
<p>遺族会</p>	<p>日本遺族連合会、都道府県遺族会（東京、埼玉、神奈川、静岡、佐賀、大分）、神奈川県寒川町、大阪府堺市、東京都中央区・荒川区、平塚市、茅ヶ崎市、御前崎市、シベリア・クラスノヤルスク遺族会、フィリピンみたま会、ピースリング・オブ・グアムジャパン、マーシャル方面遺族会、パラオ遺児の会</p>
<p>戦友会等</p>	<p>シベリア抑留者支援センター、比島ミンダナオ方面戦没者遺児の会、東京メレヨン会、東京ヤゴダ会、陸士（第56、第58）期生会、陸軍幼年学校（仙台）</p>
<p>宗教団体</p>	<p>普明会教団、真言宗護國派、妙智會教団、阿含宗（関東別院、清掃奉仕会）、新日本宗教青年会連盟、日蓮宗、浄土真宗本願寺派、日本宗教連盟、新日本宗教団体連合会、解脱会（本部、東京第1教区、青年本部）、立正佼成会、世界連邦日本仏教徒協議会、関西宗教懇話会、念法真教、法華宗宗務院、龍雲寺、日本山妙法寺、東郷神社</p>
<p>都府県知事 篤志団体等 ( * 代理人 )</p>	<p>第1普通科連隊、陸自衛生学校、海自教育航空集団、航空中央音楽隊、航空中央業務隊、防衛大学校、都道府県知事（岩手*、東京*、京都*、兵庫*、和歌山*、広島*、愛媛*、佐賀*、長崎*、熊本*、鹿児島*、沖縄*）、千代田区、日本郷友連盟、東京郷友連盟、隊友会、東京都隊友会、偕行社、水交会、つばさ会、特攻隊戦没者慰霊顕彰会、大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会、全国強制抑留者協会（本部、埼玉支部）、英霊にこたえる会、中央乃木会、東郷会、小松ストアー、富士急行、富士植木、太平洋戦争戦没者慰霊協会、呉竹会、北海道新聞社、日本放送協会、音羽ゆりかご会、東京葵ライオンズクラブ、法政ライオンズクラブ、柏木グリーンライオンズクラブ、帝国華同院研究部、千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕茶会、竹中工務店、喇叭保存会、喇叭伝承会、JYMA日本青年遺骨収集団、8・15平和祈禱会、フォーラム平和・人権・環境、千代田区海洋少年団、清掃ボランティア活動奉仕会、トイレ清掃奉仕会、お茶の水女子大、二松学舎大学、早稲田大学、葛西第3中学校、足立区千寿本町小</p>

## 令和3年度奉仕会会員等人数及び参拝者の推計

(3月31日現在)

## 1 会員等数

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
個人 (人)	正会員 (富士ダイス:内数)	548 (164)	532 (132)	503 (109)	457 (81)
	終身会員	814	807	772	696
	奉納者	161	174	172	143
	小計	1,523	1,513	1,447	1,296
団体 (個)	特別会員	11	14	17	18
	同窓団体	23	23	23	23
	地域偕行	50	50	50	50
	郷友団体	41	40	40	40
	戦友会	38	37	36	36
	篤志団体	91	91	92	92
	宗教団体	134	133	135	135
	遺族会	486	484	477	475
小計	874	872	870	869	

## 2 参拝者の推計

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
団体 (人)	記録した参拝者数	17,876	15,163	2,490	1,910
	記録漏れ推計数 (記録数の10%)	1,788	1,516	249	191
	小計	19,664	16,679	2,739	2,101
個人 (人)	桜開花時期(参考)	18,365	21,899	6,447	7,021
	(上記期間4月分)	(2,932)	(9,528)	(1,034)	(731)
	終戦の日関連 (8月13~15日)	7,223	11,618	2,764	1,446
	彼岸期間 (春・秋各1週間)	2,133	3,524	941	1,722
	上記以外	47,071	29,127	31,056	31,641
	小計	59,359	53,797	35,795	35,540
合計		79,023	70,476	38,534	37,641